

◆ 平成29年3月期 第2四半期累計期間
業績レビューと見通し



平成28年11月16日

 **株式会社 昭和システムエンジニアリング**

目次

会社概要	3
平成29年3月期 第2四半期累計期間 業績レビュー		
1 業績概要	5
2 経営成績	6
3 業種別売上比率(全社)	7
4 業種別売上高(全社)	8
5 業績推移(過去5年)		
(1) 全社	9
(2) セグメント別業績推移	10
6 貸借対照表	11
平成29年3月期 業績見通し		
7 対処すべき課題の進捗状況	13
8 平成29年3月期業績見通し	14

会社概要

“Knowledge Integrator”

社名	株式会社 昭和システムエンジニアリング (Showa System Engineering Corporation)
所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号
設立	1966年4月（昭和41年）
資本金	6億3,050万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 情報システムの開発・ システムインテグレーション・サービス・ 情報システムの開発・運用に関するコンサルティング・ BPOエントリースervice
社員数	429名（2016年10月1日現在）
発行済株式数	4,810,000株
株主数	1,549名（2016年9月30日現在）

平成29年3月期 第2四半期累計期間

業績レビュー

1. 業績概要 (平成29年3月期 第2四半期累計期間)

売上高

3,029百万

(前年同期：3,420百万円)

営業利益

173百万円

(前年同期：235百万円)

純利益

112百万円

(前年同期：150百万円)

経済動向

- わが国経済は、緩やかに回復基調で推移
- 英国のEU離脱、中国や新興国の景気減速と先行き不透明な状況は継続

情報サービス産業の動向

- 大規模プロジェクト案件の需要が一段落し、売上高は前期に比べ僅かながら減少基調

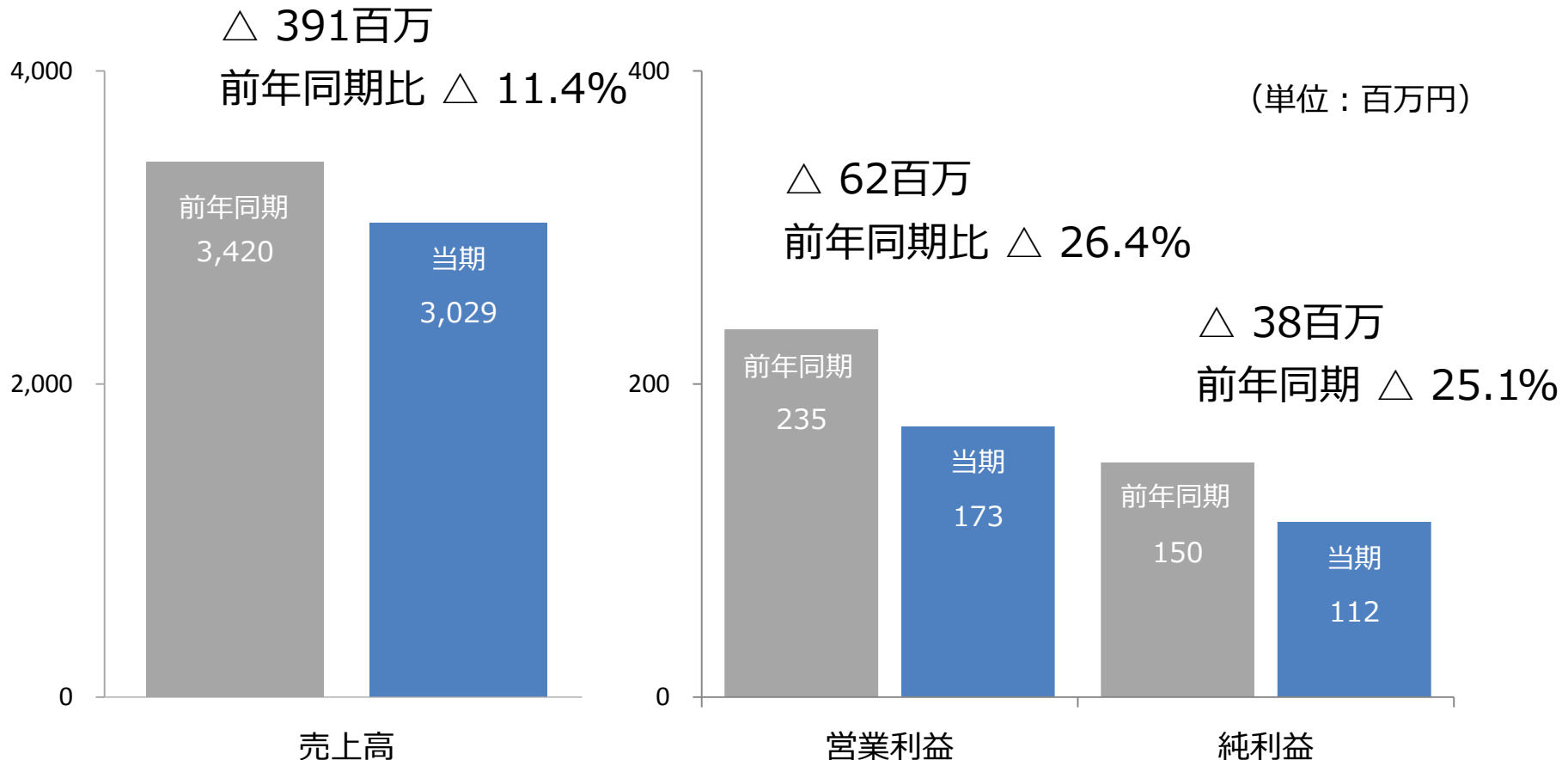
当社の動向

営業および技術者の育成を強化し、顧客のニーズに対応するも、顧客情報化投資の姿勢はより一層慎重となり状況は厳しく推移

2. 経営成績 (平成29年3月期 第2四半期累計期間)

"Knowledge Integrator"

前年同期対比で減収減益

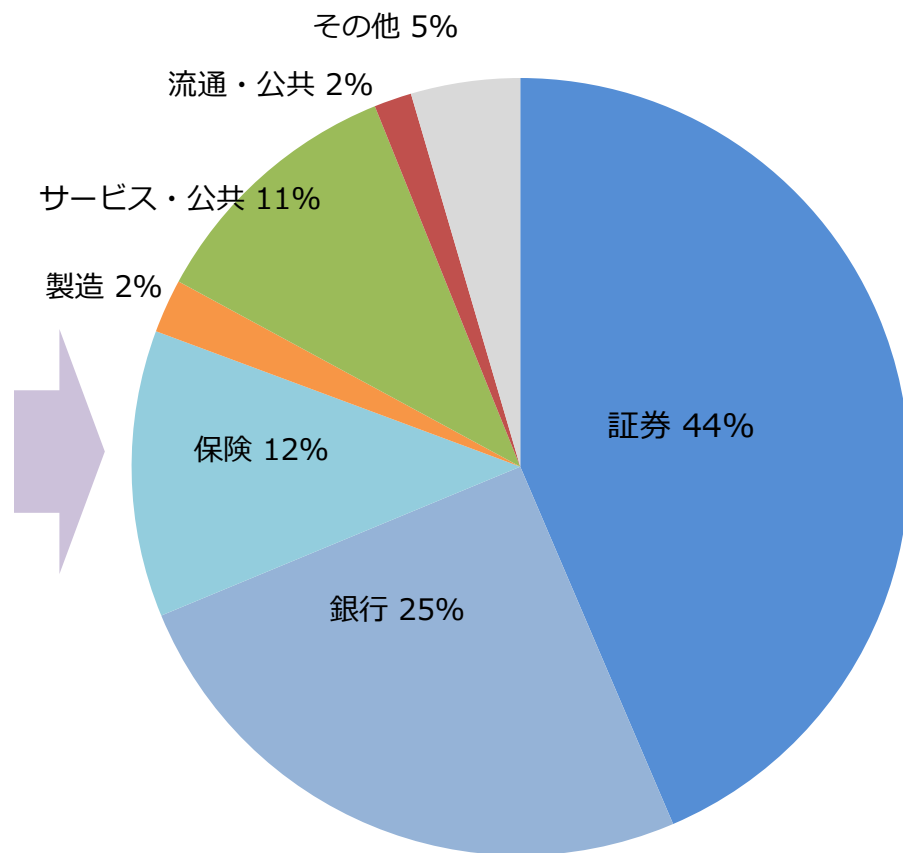
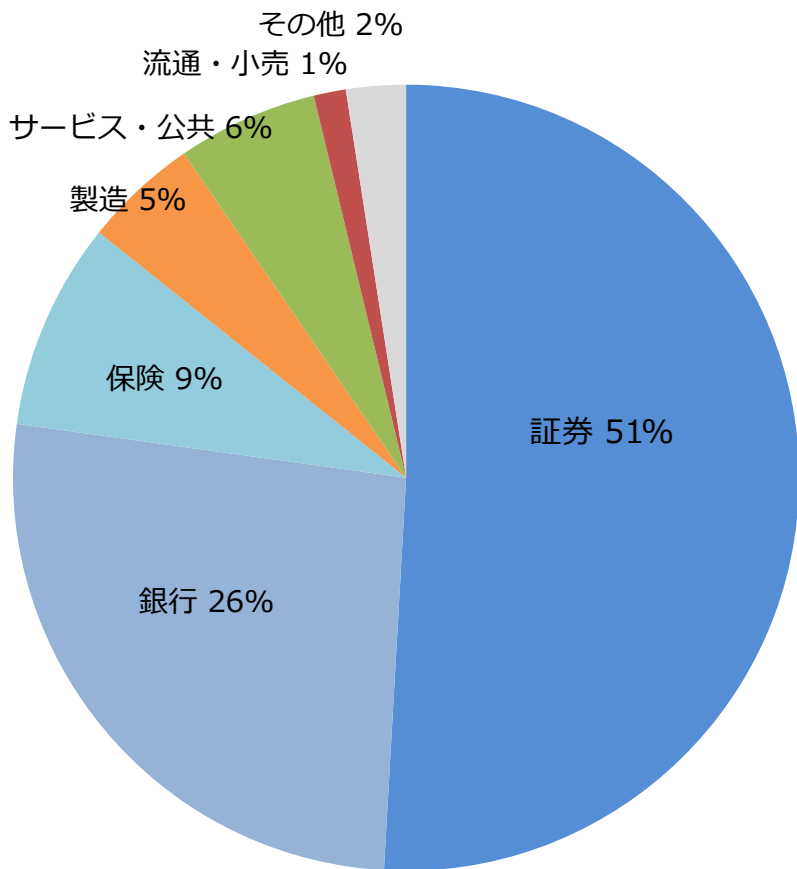


3. 業種別売上比率 (全社)

“Knowledge Integrator”
(平成29年3月期 第2四半期累計期間)

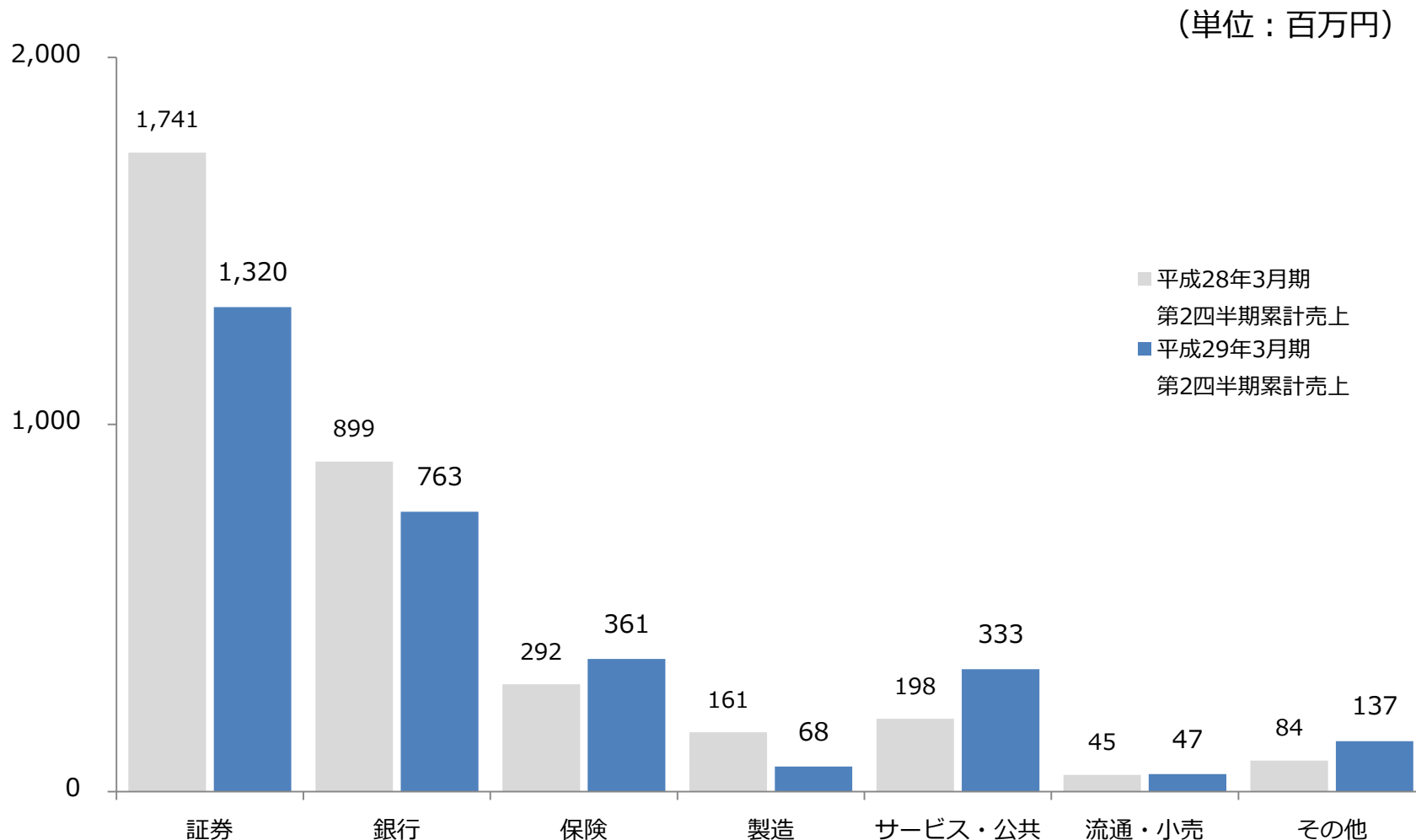
平成28年3月期 第2四半期累計

平成29年3月期 第2四半期累計



4. 業種別売上高 (全社)

“Knowledge Integrator”
(平成29年3月期 第2四半期累計期間)

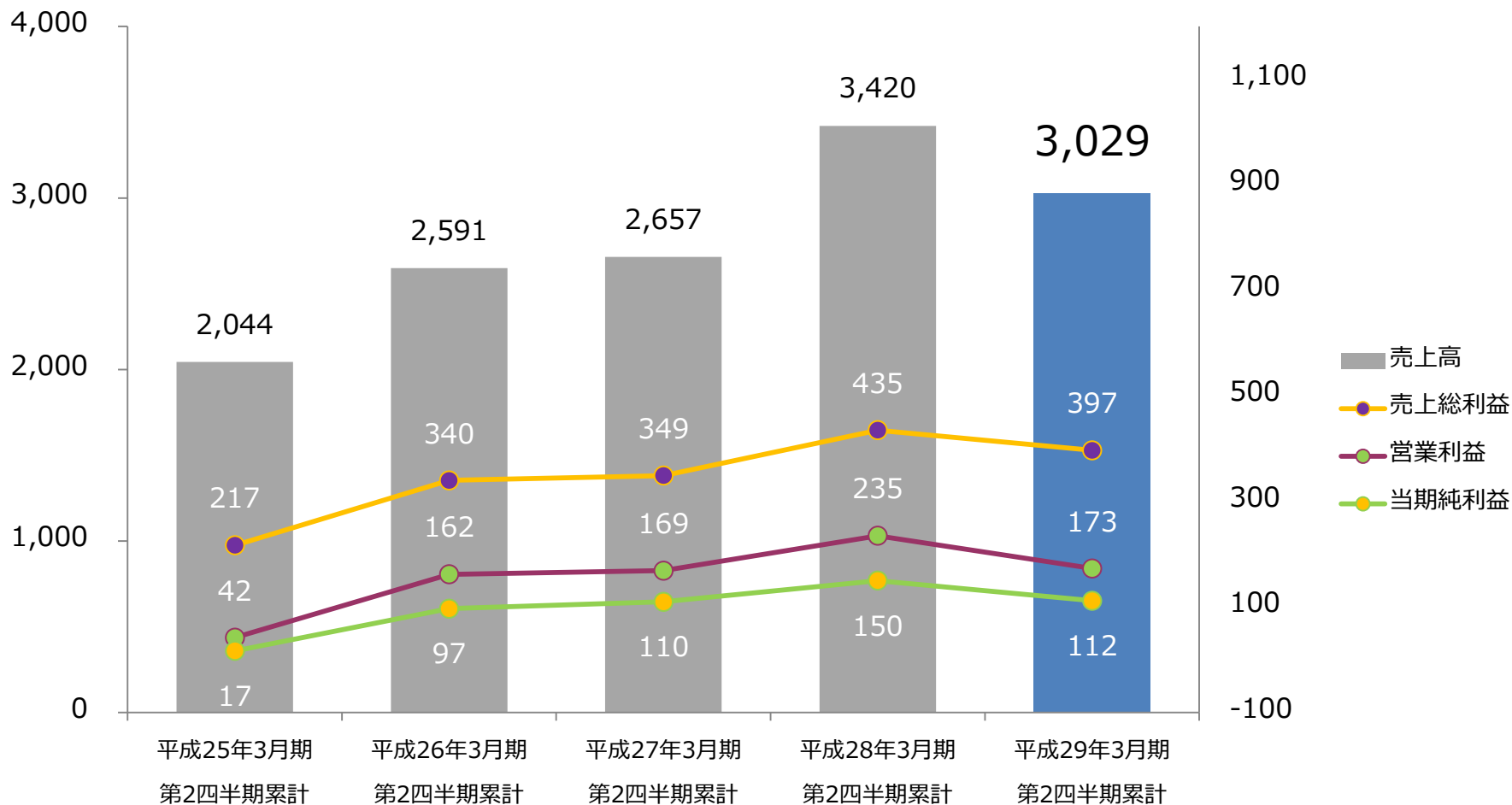


5. 業績推移（過去5年）

“Knowledge Integrator”

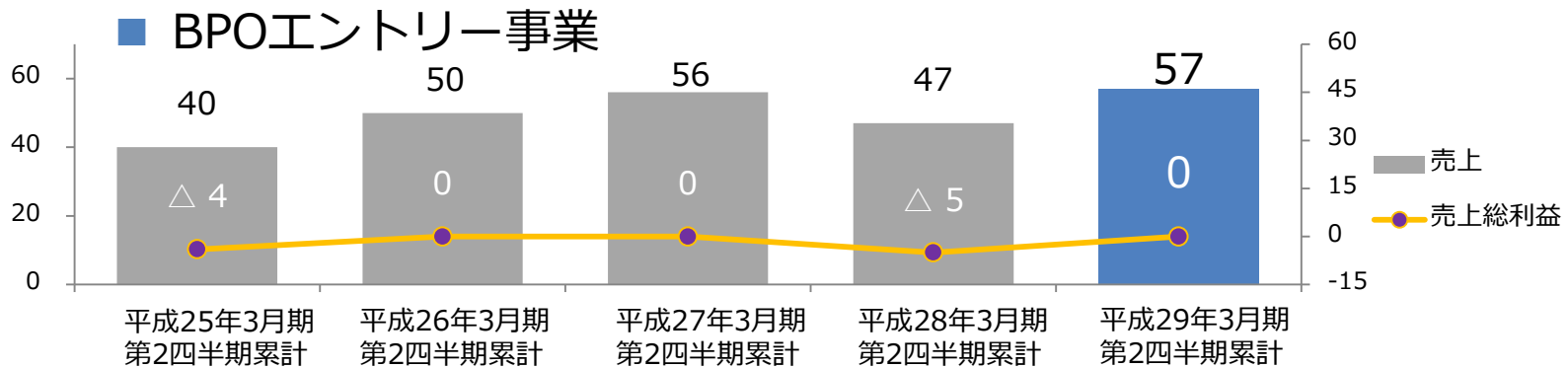
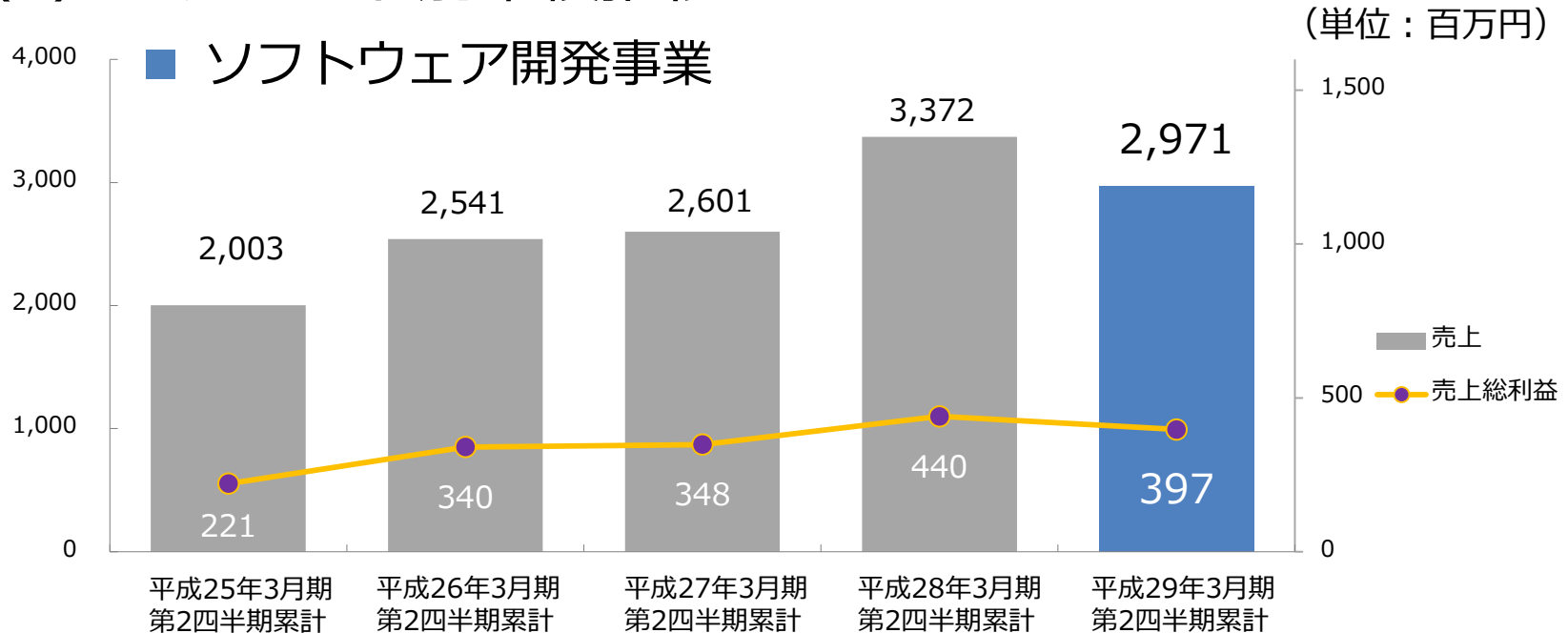
(1) 全社

(単位：百万円)



5. 業績推移（過去5年）

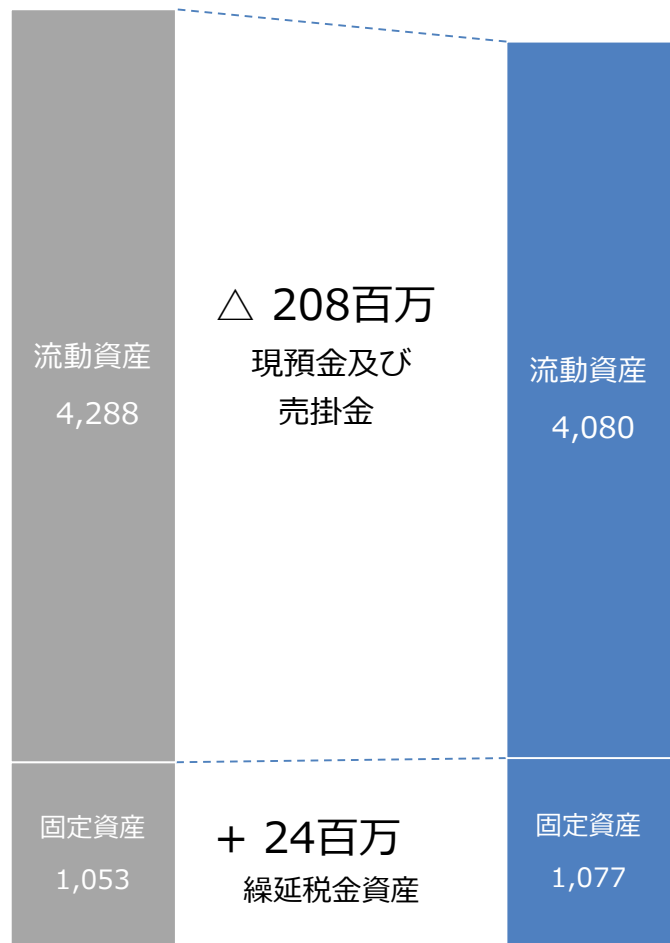
(2) セグメント別業績推移



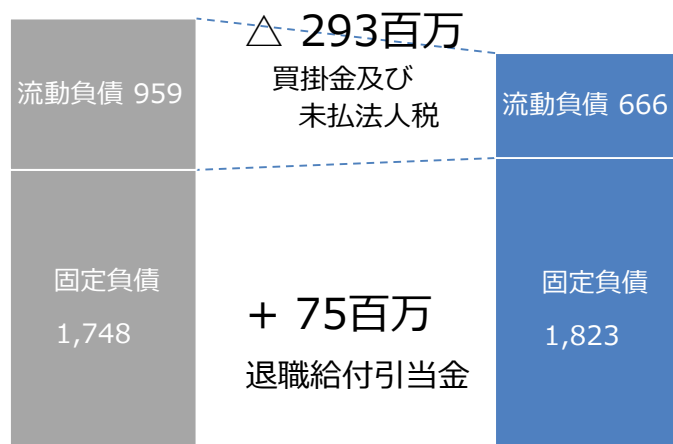
6. 貸借対照表 (平成29年3月期 第2四半期末)

"Knowledge Integrator"

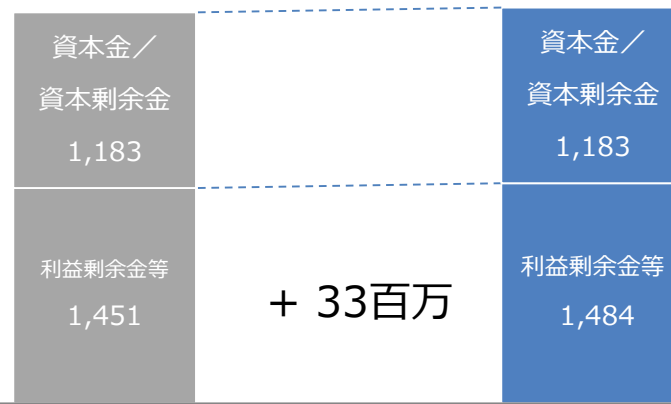
資産の部



負債の部



純資産の部



平成28年3月期
期末

平成29年3月期
第2四半期末

平成28年3月期
期末











平成29年3月期
第2四半期末

平成29年3月期

業績見通し

7. 対処すべき課題の進捗状況

“Knowledge Integrator”

対処すべき課題	年度施策	進捗状況	下期
1.ナレッジ型 ビジネスの 深化と拡大	<ul style="list-style-type: none"> 証券関連に資源を集中 提案型ビジネスを積極的に展開 	<ul style="list-style-type: none"> 資源の集中化、提案型ビジネスの強化を図り案件を獲得するも、情報化投資抑制により鈍化。更なる選択と集中によりキャッチアップを図る。 	 
2.ファクトリー型 請負ビジネスの 推進	<ul style="list-style-type: none"> 当社の持つ施設・ノウハウを最大限に活用したビジネスの獲得 	<ul style="list-style-type: none"> ノウハウの集約、施設拡充によるファクトリー型体制の整備を図り案件を獲得。更なるビジネス推進に向けた、営業活動を強化中。 	 
3.新規ビジネスへの 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の情報化投資をにらんだ新たなビジネスチャンスの発掘 	<ul style="list-style-type: none"> タスクチームを発足しデジタルビジネスの調査・研究・企画を推進。 	 
4.技術者の育成	<ul style="list-style-type: none"> 市場が求める技術者の育成 新卒採用強化 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代高度IT人材育成計画の策定に注力。 採用活動の更なる強化を図る。 	 
5.採算管理体制の 維持・強化	<ul style="list-style-type: none"> PMOとPMRによる管理体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> 不採算案件の抑止のため引き続きプロジェクトの監視に努める。 	 

引き続き上記施策に注力。

8. 平成29年3月期業績見通し

通期の業績予想につきましては、公表値（5月13日）から変更ありません

(単位：百万円)

	平成29年3月期 上期実績		平成29年3月期 通期予想	
	金額	前年同期比	通期予想	前年同期比
売上高	3,029	△ 391	6,800	58
営業利益	173	△ 62	410	7
経常利益	177	△ 63	418	6
当期純利益	112	△ 38	274	80



 **株式会社 昭和システムエンジニアリング**

(注意)

本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び判定に基づき算定しております。

従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は予想数値と異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。